

ナンバリング	科目名	サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
212BT15	交通史	交通体系の形成と歴史的発展	宗像 俊輔	2年次前期	2
科目区分	専門	キーワード	鉄道、自動車、船舶、航空機、物流		
ディプロマポリシーとの対応	2. 交通産業および関連分野での基礎能力（技術・理論）を有し、関連分野で活躍可能な能力				
カリキュラムポリシーとの対応	1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力（技術・理論）を身につける				
事前に受講するとよい科目	交通概論、交通英語入門、鉄道基礎、鉄道工学、鉄道数学				
オフィスアワー	月曜日・火曜日・土曜日（要確認）				
教員への連絡方法	s.munakata@toko.hosho.ac.jp				
講義の目的	交通体系の整備が近代社会の形成にどのような影響を与えたのかについて、交通機関や輸送手段毎に紹介する。そして、交通体系の歴史的系譜を学習することによって、現代社会の成り立ちについても深く理解できるようになることを目的とする。				
到達目標	交通体系の歴史を理解することによって、現代の交通に関するさまざまな問題に対して関心を持ち、自分の意見を持つことができる。				
講義内容	交通体系の整備は、旅客や貨物をより高速に、より遠方に輸送することを可能とした。それは地域や国といった枠組みをこえて、国際関係にも大きな影響を与えてきた。現代の交通問題に直結する内容を扱うため、対象時期は近現代(19~20世紀)が中心となるが、必要に応じて古代・中世・近世の交通体系も扱う。対象地域は日本を中心としつつ、海外の事例もとりあげる。				
講義スケジュール		タイトル	内容		
	第1講	導入	本講義の概要、交通史研究の意義		
	第2講	水運と船舶①	水上交通の起源と役割（近代以前）		
	第3講	水運と船舶②	蒸気機関の登場と蒸気船の開発		
	第4講	水運と船舶③	旅客輸送の盛衰、貨物輸送の台頭		
	第5講	道路と自動車①	陸上交通の起源と役割（近代以前）		
	第6講	道路と自動車②	内燃機関の開発と自動車の誕生		
	第7講	道路と自動車③	自動車社会の到来		
	第8講	空と飛行機①	「空を飛ぶ」という欲求を具現化する技術開発		
	第9講	空と飛行機②	航空産業と軍事利用		
	第10講	空と飛行機③	民間航空の発達		
	第11講	交通をめぐる諸問題①	地球環境への負の影響		
	第12講	交通をめぐる諸問題②	過酷になりつつある自然災害との闘い		
	第13講	交通をめぐる諸問題③	都市への集中、地方の過疎化		
	第14講	交通をめぐる諸問題④	社会的少数者への差別的慣行		
第15講	まとめ	本講義で学習してきたことのおさらい			
指導方法	講義はレジュメと映像資料を主に用い、交通と社会の関係性について紹介する。毎回、レジュメや映像資料を踏まえたリアクションペーパー記入などの課題を課す予定である。				
事前学習	授業前の事前学習として、各回のテキスト該当ページを一読し、未習の用語等について明らかにし、課題をもって授業に臨むことが必要である。1時間30分程度の学習時間が目安である。				
事後学習	授業後の事後学習として、授業時に学習した以外の事例について参考文献を調べ、自分で考察をまとめることにより、授業で学んだ知識が定着し、理解を深めることができる。1時間30分程度の学習時間が目安である。				
成績評価方法	本試験（40%）、小テスト（40%）、毎回のリアクションペーパー（20%）。				
課題（試験・レポート）に対するフィードバックの方法	毎回の講義の冒頭でリアクションペーパーに対する返答をし、試験時には解答とその解説をする。				
テキスト	特に1冊を指定する事はしない。必要な資料については、各回で随時配布する。				
参考文献	国際交通安全学会編『「交通」が結ぶ文明と文化:歴史に学び、未来を語る』技報堂出版、2006年。その他、講義内で適宜提示する。				
実務家教員による授業	教員	経歴			
特記事項					